



南小だより

E-mail kogenminami@ac.city.myoko.niigata.jp

〈教育目標〉

進んで学ぶ子

思いやりのある子

最後までやりぬく子

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

かわいい子には挑戦させよう

校長 渡辺 伸一

第72回の大運動会は雨でしたが、がんばる子どもたちの姿を近くで感じられました。子どもたちのために大人がみんなで協力し合う姿がうれしかったです。

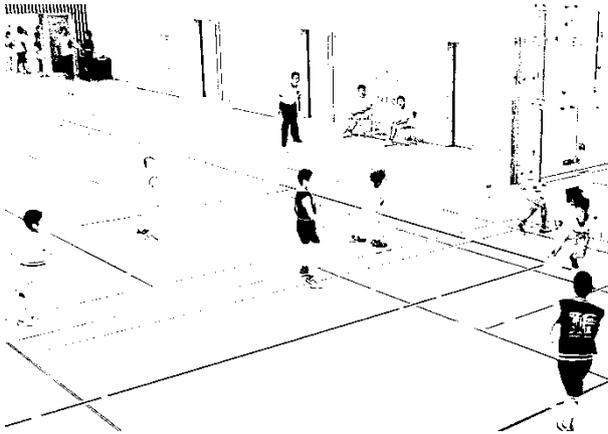
竹の子狩り遠足の日の朝も雨でした。笹ヶ峰には行けませんでした。多くの保護者の皆様から、たくさんの竹の子を学校に届けていただきました。ありがとうございました。子どもたちは、仲良し班ごとに苦勞しながら校庭で火をおこし、協力しながら旬の美味しい竹の子汁と竹の子のホイル焼きをいただきました。子どもたちにとっていい思い出ができたと思います。



今年度をもって最後となる妙高市親善ミニバスケットボール大会では、男女とも1勝することができました。短い練習期間でしたが、5人の6年生が中心となり、チームワーク良くまとまり、短期間で目を見張るような上達を見せました。私は、会場に駆けつけていた



だいた、たくさんの保護者の皆様と、がんばる子どもたちに声援を送りました。懸命にボールを追いかける姿に触れ、ゲームを楽しむとともに元気と勇気をもらいました。



行事での雨や、団体ゲームでの少人数は不利な条件です。誰もいい条件で気持ちよく過ごしたいし、勝負事は勝ちたいはず。不利な条件や勝負に負けることは、私たちにとってマ



イナスのイメージで受け取られがちです。しかし、それだけではありません。工夫する機会を与えてくれたり、協力し絆を深めたり、少人数で深くまとまったり、克服するチャンスだったり、たくさん出場できたりします。負けから学ぶこともたくさんあります。むしろ終わってみれば、不利な条件の方がより大きく成長し、得るものが大きいということもうなずけます。

条件が悪い⇨成果が少ない

なのです。大事なのは工夫して考えることと前向きな考え方です。

私たち大人は、つまづくことを恐れ、子どものためだと言って手を出し、口を出し、従わせようとしていませんか。考える機会を奪っていませんか。なぜならその方が安全で簡単だから……。でも、時には子どもと一緒に悩み、ヒントを与え、自分で考え、決めさせる機会をつくりたいものです。仕方を教え、挑戦させてみましょう。子どもは知恵を振り絞り、きっと成長するはず。です。

保健委員会の こども園訪問



6月27日から7月3日まで、学校ではすこやかウィークを行っています。「朝！元気スタート運動」の項目とめあてについて、子どもたちが家で1週間チェックをしています。この機会に家族みんなで健康習慣について考えてみましょう。

また、保健委員会がこども園を訪問し、園児にラジオ体操を教えました。「南小の児童はラジオ体操が上手ですね」と北小の先生に褒められました。